

Stage5

The Noisy Day

騒々しい一日

作・トニー・ブラッドマン

絵・ジョン・スチュアート

<読むまえに>

お子さんが読むまえに、この本についてお子さんと話しましょう。

- ・表紙と裏表紙を見て、この本に書かれていそうなことをお子さんと話しましょう。
- ・このお話にはだれが出てくるかをお子さんにたずねてみましょう。このお話にでてくるひとたちの話を、まえにも読んだことがあるでしょうか。
- ・さわがしい日に聞こえてきそうな、すべての音についてお子さんと話しましょう。

<読んでいるときに>

自分のスピードで読めばいいよと、お子さんにいってあげましょう。

お子さんが単語を読むのにつかえたときは、次のようにうながしてあげてもいいでしょう:

- ・ことばを声にだして行ってごらん。
- ・その文章のはじめにもどって、もう一度読んでみよう。
- ・絵を見るとわかるよ。

<ひっかかることば>

ここにあるのは、お子さんがこの本を読むときにひっかかりそうなことばです。

quiet 静かな

playground 運動場

football サッカー

were だった

noisy やかましい

again また

[p. 1]

さわがしい一日

作・トニー・ブラッドマン

絵・ジョン・スチュアート

[p. 2]

キヤットがベッドに入って寝ているとき、キヤットの寝室は静かでした。

[p. 3]

それからキヤットには、おねえさんたちがさけぶのが聞こえました！

そしてキヤットの時計が「ビーツ、ビーツ、ビーツ！」と鳴りました。

[p. 4]

とても騒々しい登校でした！

キヤットの3人のおねえさんたちはとても大きな声でした。

[p. 5]

<ペチャクチャ>

<ペチャクチャ>

騒々しい教室でした！

みんな、とてもおしゃべりななかまでした。

[p. 6]

キヤットは静けさがほしくて、休み時間に講堂にかくれるとボタンを押しました。

[p. 7]

突然、バンドがやってきて、すぐに床がふるえはじめました。

[p. 8]

キヤットは静かなかくれ場所を探して、運動場に逃げ出しました。

[p. 9]

<ゴール>

騒々しい男の子たちがサッカーをしていました。両チームとも大勢の選手です。

[p. 10]

「静かにして！」

小さくなっているのは問題でした。大きな騒音がキヤットの小さな耳を痛めます。

[p. 11]

<リン、リン>

もう一度、キヤットはボタンを押しました。でもベルがすぐそばにありました！

[p. 12]

ほんとうに騒々しい帰宅の車でした！

やかましいおねえさんたちが1人、2人、3人いっしょです。

[p. 13]

とても騒々しい夕食時間でした！

キヤットは本を読むために席をはずしました。

[p. 14]

「みんな、もう寝る時間よ」、ママが言いました。

キヤットはやっとにっこりして、ドアをしめました。

<ボタン！>

[p. 15]

ようやく家が静かになりました。

キヤットが……いびきをかき始めるまでは！

「あの子のこと、聞いて！」

<グーグーグーグー>

<読んだあとで>

読んだあとで、この本についてお子さんと話しましょう。こんな質問をしてみましょう：

- ・キャットが聞いた騒音のどれか、おぼえてる？
- ・静けさをもとめて、キャットは何をしたでしょう？ その結果どうなったでしょう？
- ・お話の最後で、キャットは何をしたでしょう？
- ・この本を読んでどう思った？

この話をまた読んでみようとお子さんにすすめてください。読む自信をそだて、つかえずに読めるようになります。

<ほかにすること>

この本のことをくりかえし話題にしましょう。お子さんは、「静かに」というポスターをデザインしてもいいですね。